2021年3月期　決算説明会

開催日：2021年5月14日（金）

2021年5月14日にアナリスト・機関投資家の方々を対象とした
「2021年3月期　決算説明会」を開催いたしました。
決算概要、業績予想、第10次中期経営計画（NEXT 1800）進捗について
説明いたしました。
内容につきましては、次ページ以降に掲載しておりますのでご覧ください。

2021年3月期 決算説明資料

2021年5月14日
サンワテクノス株式会社

本資料取扱い上の注意点

- この資料には、当社の将来についての計画や戦略、業績に関する予想見通しの記述が含まれています。

- これらの記述は、現時点における情報に基づき判断したものであり、マクロ経済や当社の関連する業界動向、新たな技術の進展等により変動することがあり得ます。

- 従いまして、実際の業績等が記載の予想数値と異なる可能性がありますことをご承知おき下さい。

- 2021年3月期 決算概要
- 2022年3月期 業績予想
- 第10次中期経営計画「NEXT 1800」の進捗状況について

- 2021年3月期 決算概要
- 2022年3月期 業績予想
- 第10次中期経営計画「NEXT 1800」の進捗状況について

連結決算の概要について

・前年同期比で**減収増益**

（単位：百万円）

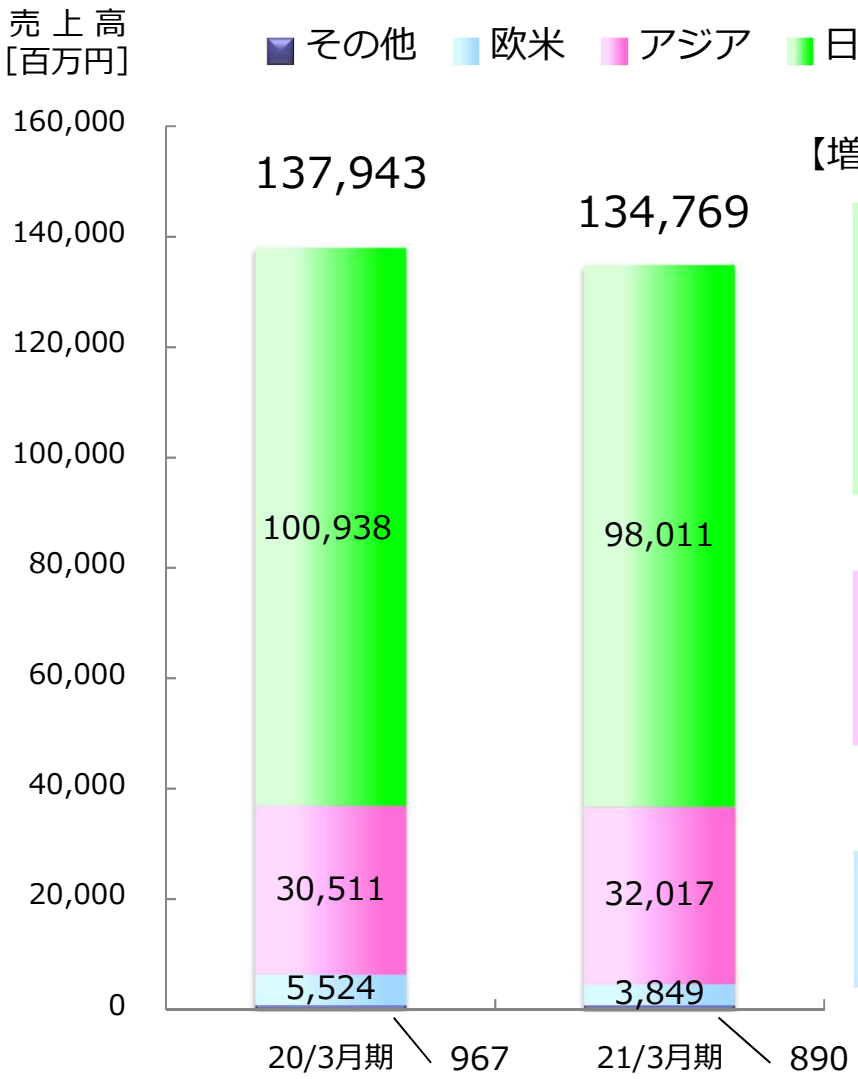
	前期	当期	増減額	対前年同期 増減率
売上高	137,943	134,769	△3,174	△2.3%
営業利益	1,846	2,152	306	16.5%
経常利益	2,144	2,567	423	19.7%
当期純利益 （※）	1,341	1,786	445	33.2%
1株当たり 当期純利益	84.11円	113.23円	29.12円	34.6%

【連結決算の概要について】

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、製造業各社の工場の操業低下、設備投資の先送りなどにより、厳しい状況が継続しましたが、昨年末より半導体関連業界、産業機械業界の一部、自動車関連搭載向けで持ち直しの動きがみられ、特に景気の回復が続く中国の需要が順調に推移しました。また、オンラインツールの活用などで販売費及び一般管理費が減少し、減収増益となりました。

（※）親会社株主に帰属する当期純利益

（連結）セグメント別 売上高実績

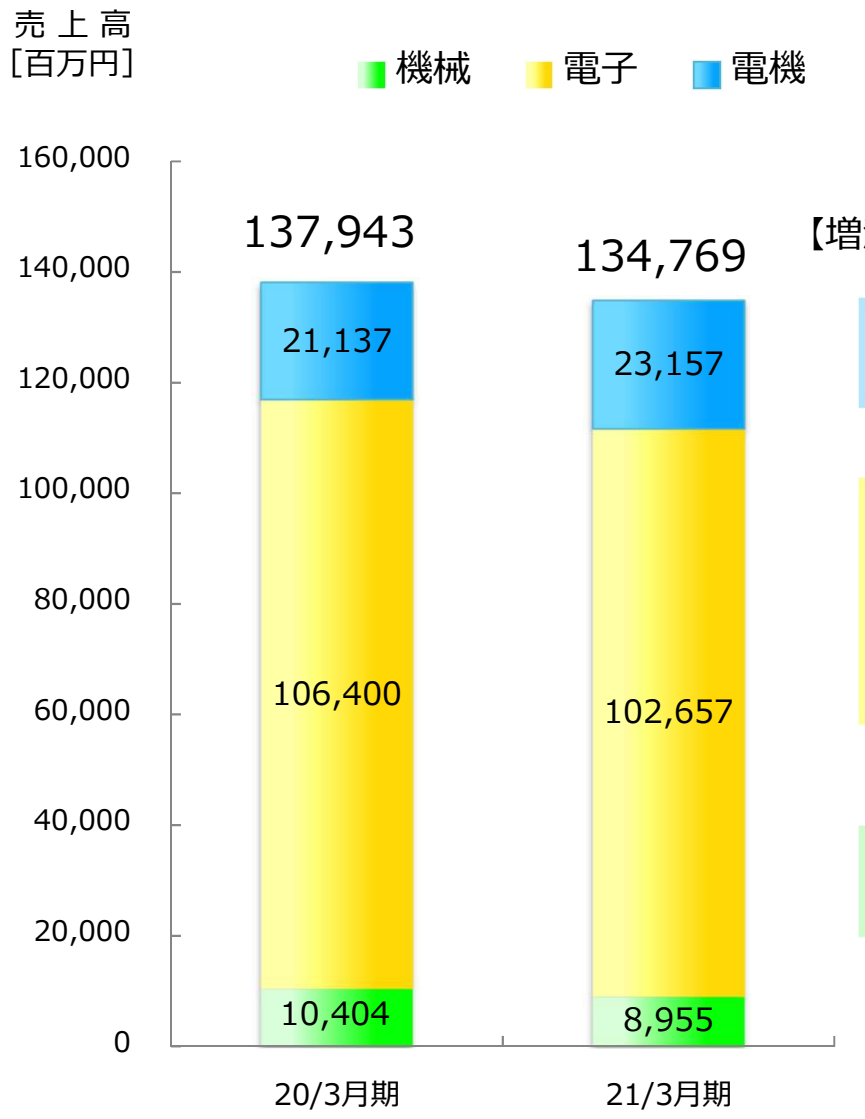


【増減要因】

	前期比
【日本】 ◇産業機械業界向けの電機品、産業機械業界向けの電子部品の販売が増加 ◇アミューズメント業界向けの電子部品、産業機械業界向けの設備機器の販売が減少	△2.9%
【アジア】 ◇産機機械業界向けの電機品、産機機械業界向けの電子部品の販売が増加	4.9%
【欧米】 ◇アミューズメント業界向けの電子部品の販売が減少	△30.3%

※セグメント間の内部売上高又は振替高を除いた売上高で表示しております。

（連結）部門別 売上高 実績

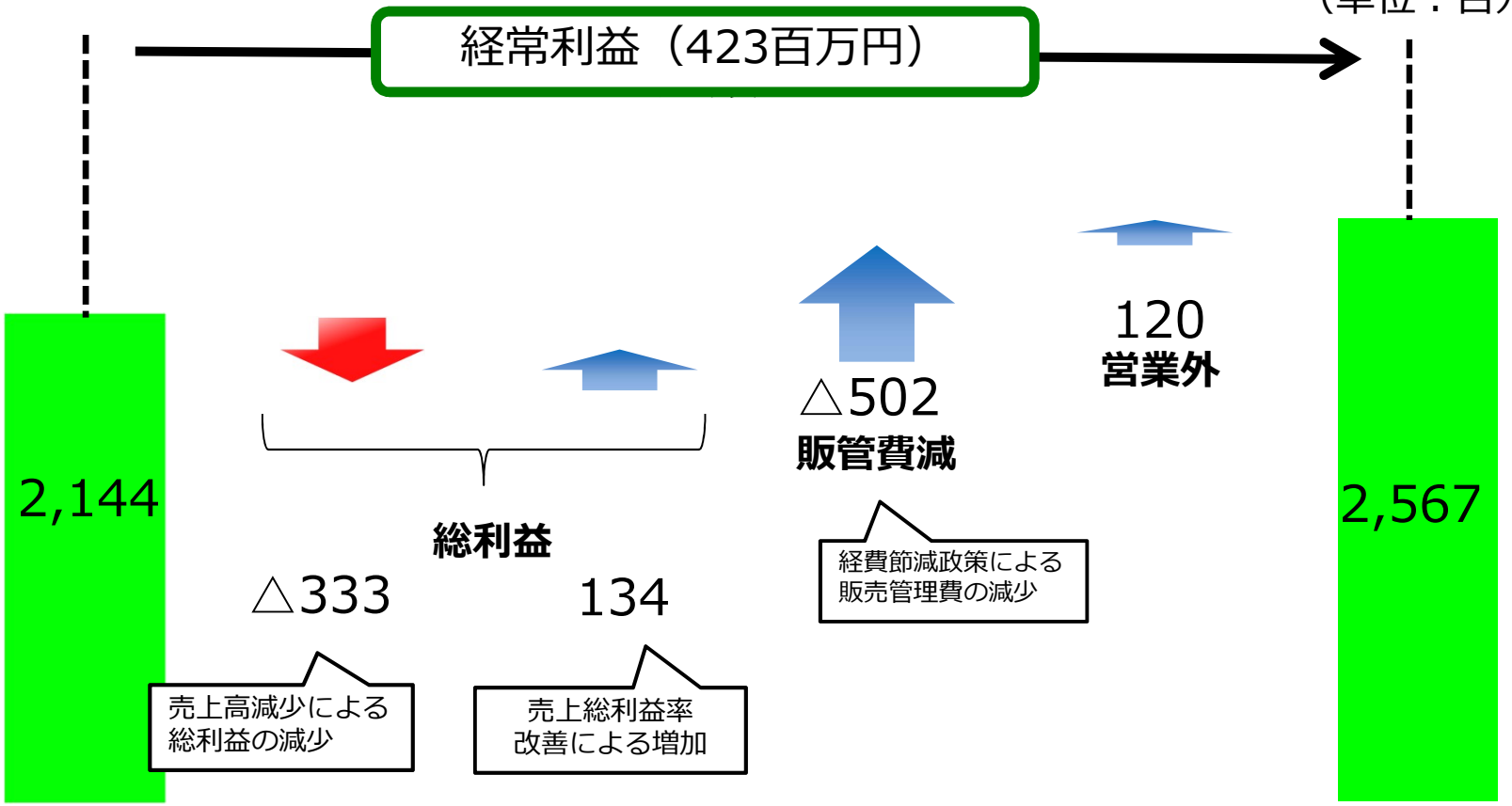


【増減要因】

	前期比
【電機部門】 ◇産業機械業界向けの電機品の販売が増加	9.6%
【電子部門】 ◇産業機械業界向けの電子部品の販売が増加 ◇アミューズメント業界向けの電子部品の販売が減少	△3.5%
【機械部門】 ◇産業機械業界向けの設備機器の販売が減少	△13.9%

（連結）2021年3月期通期 経常損益分析

（単位：百万円）



20/3月期
経常利益

21/3月期
経常利益

※総利益（△333）算出方法＝「当期売上高減少額」（△3,174百万円）×「前期利益率」（10.5%）

（個別）業界別 売上高増減推移表

得意先（業界）	増減推移（矢印） 及び シェア（%）							
	2019/上		2019/下		2020/上		2020/下	
ＦＡ・産業機器	↘	36.6%	→	35.3%	↘	38.2%	↗	35.2%
自動車（車載）	↗	22.8%	→	22.1%	↘	20.4%	↗	24.7%
半導体・液晶	↗	9.3%	↗	10.8%	↘	10.7%	→	8.8%
社会インフラ	↗	3.6%	↗	3.9%	↘	3.6%	→	3.1%
アミューズメント	↘	3.7%	↘	2.9%	↘	1.7%	↘	1.2%
情報・通信	↘	2.4%	↗	2.5%	↘	2.2%	↗	3.7%
医療機器	↗	1.7%	↘	1.4%	↘	1.6%	↗	1.4%
環境・エネルギー	↘	1.5%	→	1.4%	↘	1.2%	→	1.0%
食品	↘	0.1%	↗	1.3%	↘	0.4%	↘	0.0%
セキュリティ	↘	0.2%	↘	0.1%	→	0.1%	↘	0.1%
その他	↘	18.4%	→	18.3%	→	19.9%	↗	20.7%
合計		100.0%		100.0%		100.0%		100.0%

※ 2020年3月期より集計方法を変更しております。

- 2021年3月期 決算概要
- 2022年3月期 業績予想
- 第10次中期経営計画「NEXT 1800」の進捗状況について

業績予想について

（単位：百万円）

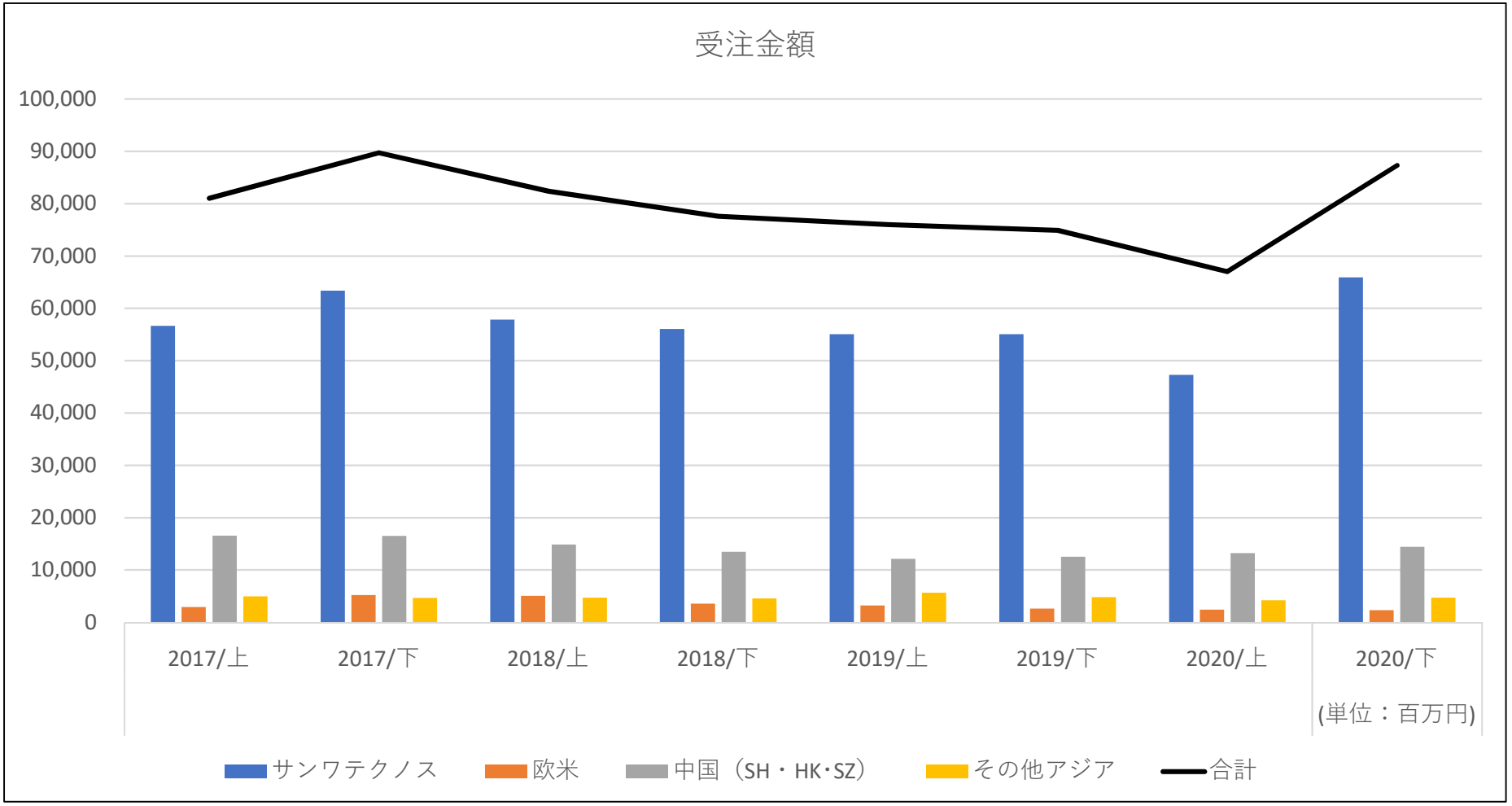
	2021年3月期	2022年3月期 業績予想	対前期増減率
売　上　高	134,769	**135,800**	0.8%
営業利益	2,152	**3,430**	59.4%
経常利益	2,567	**3,500**	36.3%
当期純利益 （※）	1,786	**2,250**	26.0%

（業績予想の前提となる為替レート　１米ドル＝104円　１ユーロ＝127円　1中国元＝16.0円）

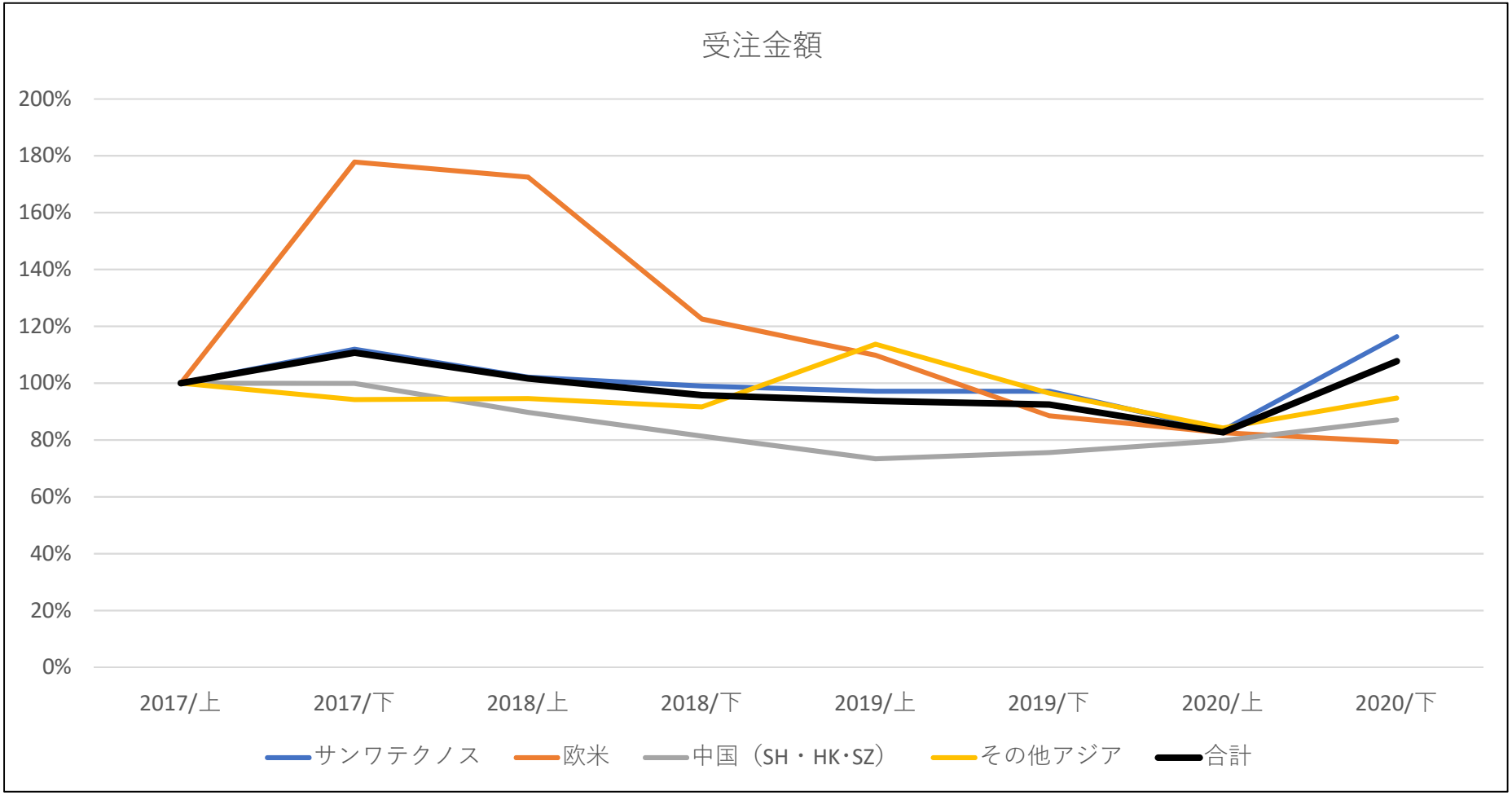
【2022年3月期の見通し】
新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の収束が見通せず、景況に関する先行きは不透明な状況が続くと想定されますが、引き続き経済回復が順調な中国が世界経済の成長を牽引すると見込まれ、高速通信規格「５Ｇ」の商用化及び電気自動車：ＥＶ化の加速に伴う設備投資などの持ち直しが期待されます。

（※）親会社株主に帰属する当期純利益

（連結）セグメント別 受注金額 推移グラフ



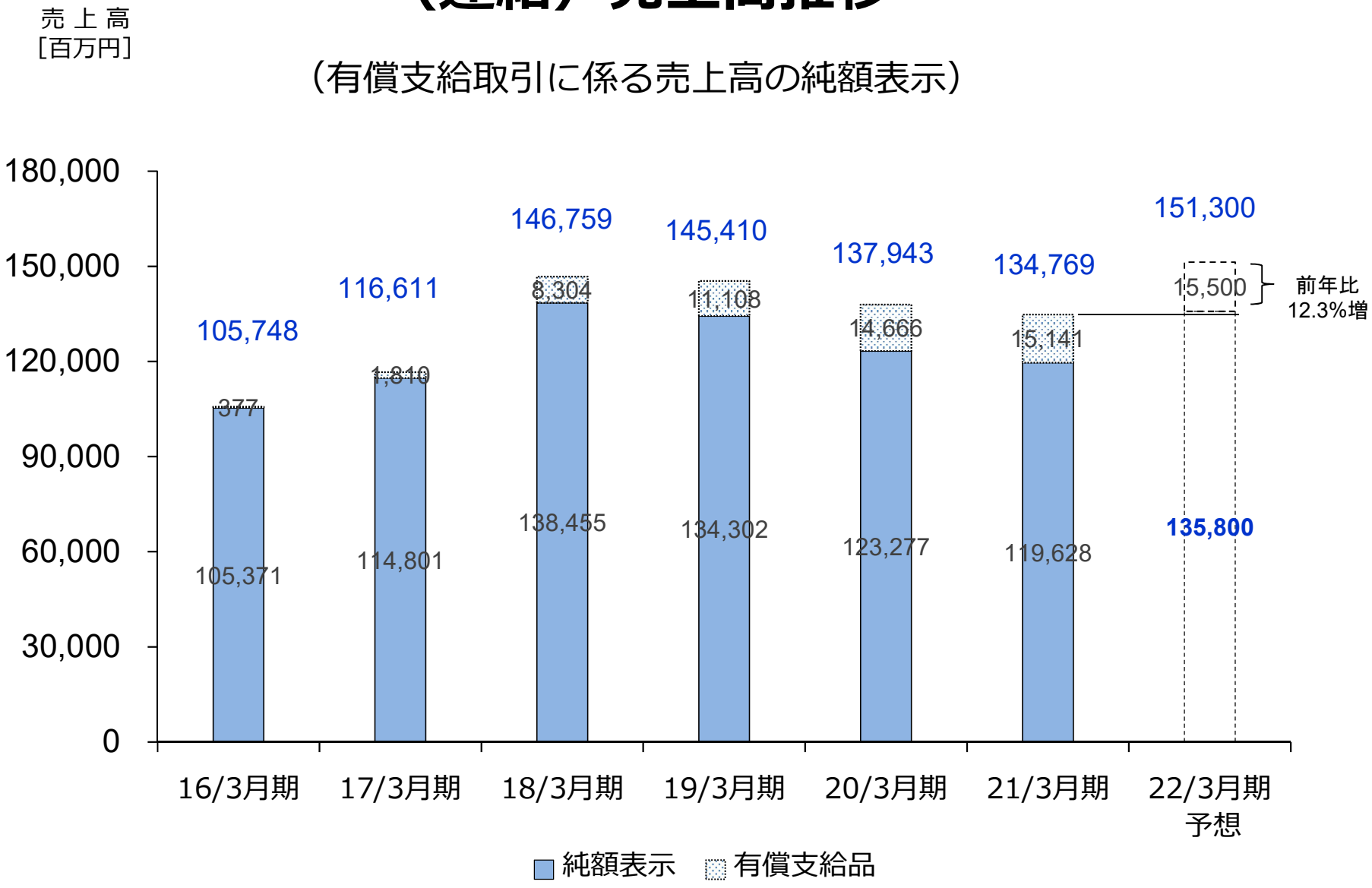
（連結）セグメント別 受注金額 増減率グラフ



※2017/上を100%として算出

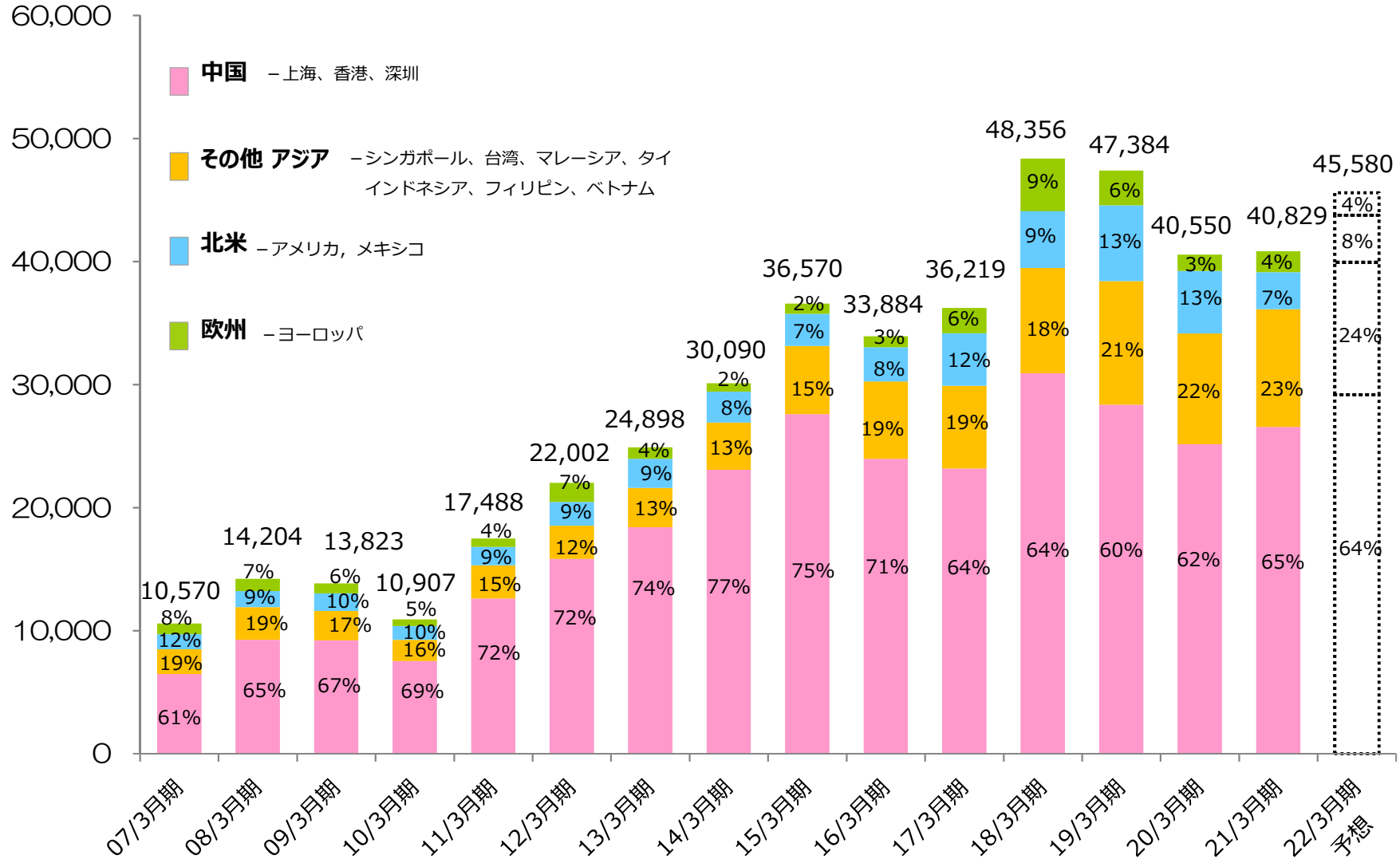
（連結）売上高推移

（有償支給取引に係る売上高の純額表示）



（単位：百万円）

海外現地法人売上高推移



海外事業の売上高比率	19.7%	20.5%	24.5%	28.2%	29.7%	32.9%	32.0%	31.1%	32.9%	32.6%	29.4%	30.3%	33.6%		

配当金の推移

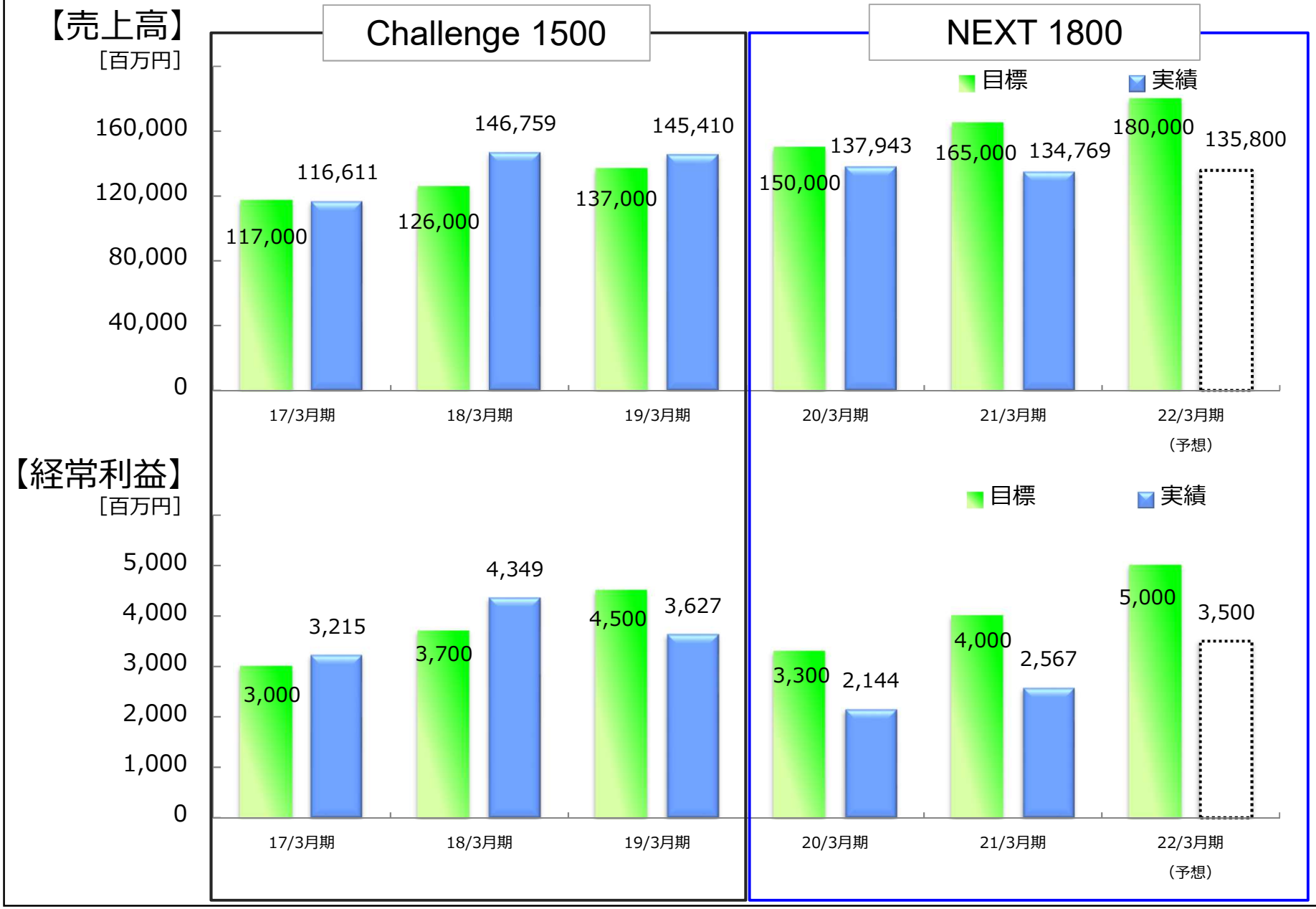
期	第2四半期末	期末	年間	配当性向 連結
１８/３月期	１４円	１6円	３０円	13.5%
１９/３月期	１７円	１７円	３４円	20.7%
２０/３月期	１７円	１７円	３４円	40.4%
２１/３月期	１７円	１７円	３４円	30.0%
２２/３月期	１７円 (予想)	１７円 (予想)	３４円 (予想)	23.8% (予想)

当社は、株主の皆様に対して安定した配当を継続するとともに、業績の進展状況により今後も増配などを実施して行くことを目指して参ります。

- 2021年3月期 決算概要
- 2022年3月期 業績予想
- 第10次中期経営計画「NEXT 1800」の進捗状況について

SUNWA

（連結）売上高及び経常利益推移



NEXT 1800

方　針

1. コアビジネスの強化でお客様のものづくりに貢献する

2. グローバル事業を拡大し市場の需要をサポートする

3. 新事業領域へ挑戦し持続的成長を加速する

4. 持続可能な社会の実現への取り組み

1－①

コアビジネスの強化でお客様のものづくりに貢献する

NEXT 1800

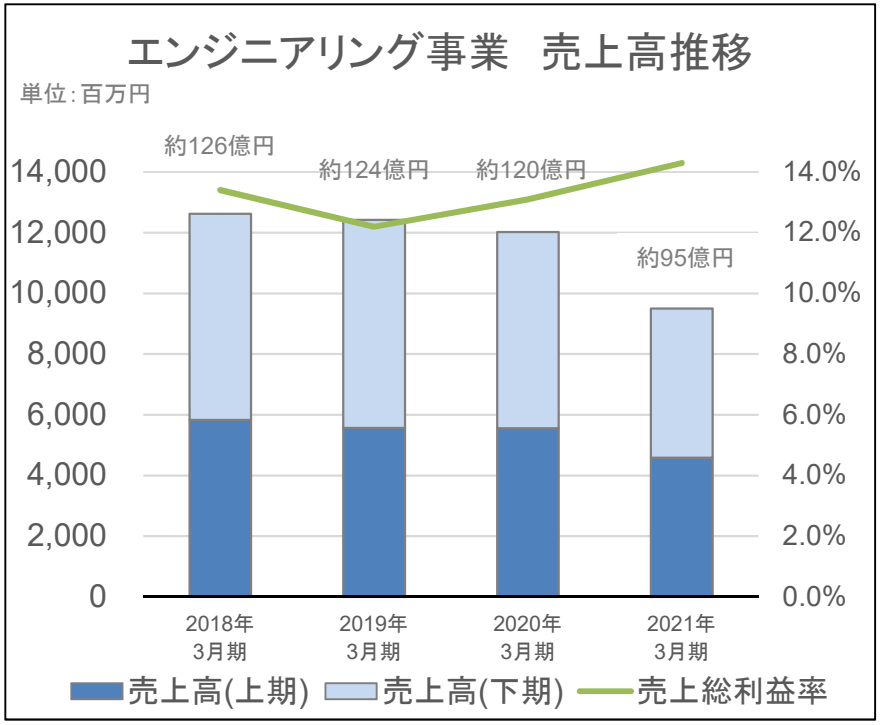
エンジニアリング事業について

【商談事例】

➢液晶搬送設備
（半導体(FPD)関連業界向け）

➢組立ロボット装置
(産業機械業界向け)

	利益率
2018年3月期	13.40%
2019年3月期	12.20%
2020年3月期	13.10%
2021年3月期	14.30%



SUNWA

1－②

コアビジネスの強化でお客様のものづくりに貢献する

NEXT 1800

ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙSCMｿﾘｭｰｼｮﾝ事業について

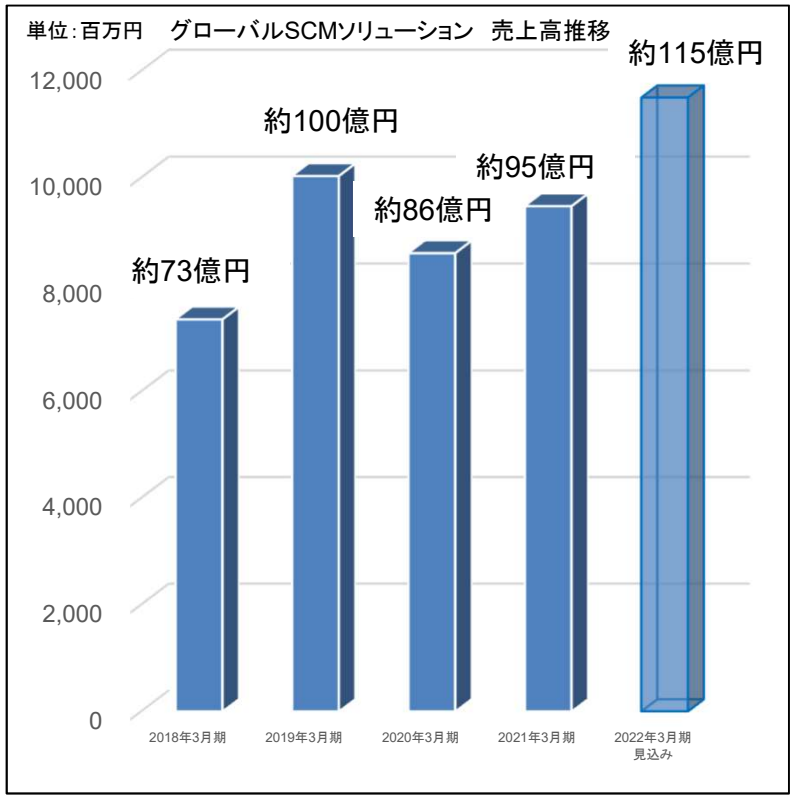
【商談事例】

◆ディスプレイ製造装置メーカーの中国工場へのSCM案件　2.4億円/年

◆セキュリティーカメラの生産移管案件
(中国国内での移管及び中国→ベトナムへの移管)
2.0億円/年

◆海外輸出業務を当社へアウトソーシング
10億円/年

◆産業用インクジェットヘッドメーカーの
アメリカ工場へのSCM案件　1.5億円/年



SUNWA

2 グローバル事業を拡大し市場の需要をサポートする

◆営業所の開設
優良顧客と『新しい密』の構築を目的に、国内では長岡、甲府、
金沢【検討中】に、海外では ペナン、厦門(アモイ)【予定】に営業所を開設

3 新事業領域へ挑戦し持続的成長を加速する

◆経営人材の育成
Global Next Leader Training、100年を描く未来討論会、
ビジョン・中期経営計画策定委員会を開催

4 持続可能な社会の実現への取り組み

◆ICT活用による働き方改革
ニューノーマルな働き方改革に柔軟に対応

◆SDGsへの取り組み
・社内にSDGsアンバサダーを設置し、浸透活動を実施
・既存ビジネスの環境・エネルギー分野の見直し

2021年度　会社方針
（第10次中期経営計画　最終年度）

グレートリカバリー（大回復）に向けた
新たなサンワテクノスの挑戦！

① コロナ禍の克服とニューノーマル市場の獲得

② DXを活用した戦略の構築とその実施体制の完成

③ 既存ビジネスの深耕による確実な成果のアウトプット
と新規ビジネスの開拓、事業ポートフォリオの見直し

以上のように、高い成長性・収益性・安定性を求めて、経営に努力してまいりますので、今後も一層のご支援を賜りたくお願い申し上げます。